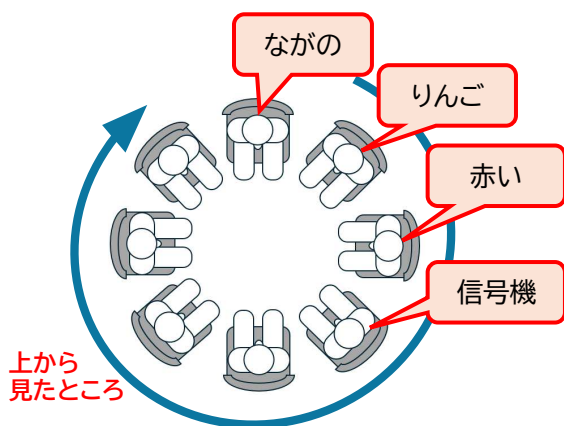


連想ゲーム

【 言語力 】

難易度 ★☆☆

楽しさ 😊😐😞



【 概要 】

- ・順番に、連想した言葉を使う
- ・前の人が出した「言葉」から連想して、自分が「次の言葉」を使う
- ・日常生活ではあまり使わない言葉を含め、様々な言葉を思い出す・使うことで、言語を鍛える
- ・連想することで、記憶や判断も鍛える

準備

- ・ お互いの顔が見えるように、輪になって座る
- ・ 順番に連想して言葉を使うこと、同じ言葉を使わないようにすることを説明
- ・ 不正解はないので、自由な発想で構わないことを伝える
- ・ 前後の「言葉」を聞いて、どんな繋がりや共通項があるか考えてみよう

方法

- ① 「連想」の例を伝えて、自分の番で何を言えば良いのかをイメージしてもらう

例) 「りんご」と聞いて、何を連想しますか？名産地の「ながの」や、味で「甘い」、色なら「赤い」、好きなお菓子と言えば「アップルパイ」など、様々な言葉が思いつきます。前の人が出した「言葉」を聞いて、思いついた言葉を自由に言ってください。

※例題として、何か言葉を挙げ、各自に何を連想するか聞いてみるのも良い

- ② 1番手で連想する方と、順番(例:時計回り順)を決めたら、司会役が最初の「言葉」を言って連想スタート
- ③ 全体で2～3周連想したところで、終了

チャレンジプログラム

「本日のお題」を決めてから連想を開始し、2周する間に、お題に合致した「言葉」を、みんな合わせて何個言えるかを目標にする
例) お題が「動物」なら、みんなの連想の中に動物の名前が何回出てくるか



プログラムの活用方法

連想された「言葉」の中に、興味を引く内容があれば、会話に繋げよう



【 簡単にする方法 】

☆☆☆ 連想できずに困っていたら、ヒントを挙げて、思いつくように助ける。
例:「りんご」と言えば…、色は？味は？名産地は？等とヒントを出す